

LIBRARY



第86号

茨城県立神栖高等学校 図書委員会

平成29年7月20日発行

「本との出会い」

図書館の本から

『SNS時代の写真ルールとマナー』を読んで

第十九代校長 小林 宏之

私が小学生の時に、読んで一番面白いと感じたのは、ジュール・ヴェルヌ作の「月世界旅行」でした。この小説は、アメリカの南北戦争の頃に、大砲の砲弾の中に人間が乗り込んで月を旅行するという物語でしたが、ロケットのない時代によく宇宙旅行を想像できたなと思います。そののを憶えています。それ以来、特にSF（空想科学小説）が好きになりました。

学生時代は「戦国自衛隊」「産霊山秘録（むすびのやまひろく）」「妖星伝」などの代表作がある半村良（はんむらりょう）の作品が好きで彼の本をよく読んでいました。

しかし、気が付いてみると、社会人（教員）になってからは、教職に関する専門書は何冊も読んでいますが、娯楽として好きな本を読む余裕が無くなってしまったことに気が付きました。それではいけないと

思い、最近は書店で面白そうな本を探して読むように心がけています。

皆さんは、本校の図書館に入ることがあるでしょうか？先日、本校の図書館に行きましたが、本校の図書館には今話題となっている新刊本がたくさん置いてあります。その中に、昨年私が読んだ本が置かれてありましたので、今日はその本について紹介します。

「SNS時代の写真ルールとマナー 日本写真家協会編」（朝日新書）

「いつでも、どこでも綺麗に撮れてその場で送信できるスマホ時代。手軽さ、身近さで写真状況は一変。素敵なレストランの中で撮っているのかな？道ですれちがうかわいいペットは？気軽に撮れるからこそ思わぬトラブルも起きやすい。SNSにアップするときこそ気を配りたいポイントなど。臆せず写真を撮りたいため、プロ写真家のアドバイス」

本のカバーの「そで」と言われる部分に書いてあった、このような紹介文に惹かれて購入しました。

この本では、例えば「レストランで撮った芸能人をブログに載せてもいいか？」など肖像権や著作権などの権利に関する問題を、Q&Aの形でわかりやすく説明しています。このケースの場合はプライバシー権やパブリシティ権といわれる権利の侵害になるので、芸能人やそのマネージャーにブログ掲載の了解を取る必要があります。勝手にブログに掲載すると権利の侵害となるという内容の回答が示されています。

これらの権利の侵害を甘くみると多額の損害賠償金を請求されるなど面倒なことになってしまうかも知れません。

ネット時代に生きる高校生の皆さんには、是非読んでほしい一冊です。本校の図書館で借りることもできますので、是非読んでください。



図書委員研修会に参加して

実施日 平成二十九年六月三日
会場 潮来高等学校



二年C組 山本 有衣実

私は『とりつくしま』という本の読書会に参加しました。『とりつくしま』の中から好きな話のタイトルを挙げ、選んだ理由を話し合いました。「白檀」という話がかなり人気がありました。また、本の内容について疑問に思ったことをお互いに質問し合ったり、自分だったら何にとりつきたいかなどを話したりしました。私が参加したグループは人数が少なかったのですが、司会の鹿島高校の方が明るく進行してくれたので、楽しく読書会に参加することができました。



二年D組 中野 南海

私は『ツバキ文具店』のグループに参加しました。本の感想や魅力的な人物、一番感動した場面、好きな言葉をそれぞれ発表した後、お題に沿って実際に手紙を書く体験をしました。他校の生徒の意見をたくさん聞き、皆さまざまな観点から本を読み、考えているということが分かりました。実際に書いた手紙でも、人それぞれ使用する紙や筆記用具が異なっていたり、同じお題でも書く人によって文が異なっていたりして面白いと感じました。

今回の読書会ではいろいろな違いを見ることができ、勉強になりました。参加することができてとても良かったです。



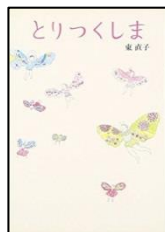
一年D組 山田 桐子

私は『コンビニ人間』のグループで話し合いに参加しました。初めは他校の知らない人しかいない状況に緊張して、うまく言葉にできなかったりしました。しかし、同じ本を読んでいるのに、自分とは反対の意見を持つ人や、違う視点から捉えている人など、完全に一致しないそれぞれの考えを知り、作品の世界が広がっていくことが感じられ、楽しく過ごすことができました。

さまざまな意見を聞いて、自分の世界を広げられるように、次回の研修会も参加したいと思っています。

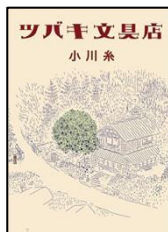


●課題図書作品紹介●



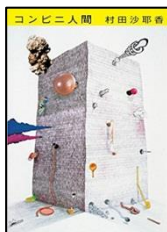
『とりつくしま』
東 直子著

死んだあなたに、「とりつくしま係」が問いかける。この世に未練はありませんか。あるなら、なにかモノになって戻ることができずよ、と。そうして母は息子のローシンバックに、娘は母の補聴器に、夫は妻の日記になった…。すでに失われた人生が凝縮してフラッシュバックのように現れ、切なさや温かさと哀しみ、そして少しのおかしみが滲み出る、珠玉の短篇小説集。



『ツバキ文具店』
小川 糸著

ラフレター、絶縁状、天国からの手紙…。鎌倉で代書屋を営む鳩子の元には、今日も風変わりな依頼が舞い込む。伝えられなかった大切な人への想い。あなたに代わって、お届けします。



『コンビニ人間』
村田 沙耶香著

三十六歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは十八年目。これまで彼女なし。日々食べるのはコンビニ食、夢の中でもコンビニのレジを打ち、清潔なコンビニの風景と「いらっしゃいませ!」の掛け声が、毎日の安らかな眠りをもたらしてくれる。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。『普通』とは何か? 現代の実存を軽やかに問う衝撃作。第一五五回芥川賞受賞。

●特集 茨城県出身若手作家・額賀滯さん●



プロフィール

一九九〇年、茨城県行方郡麻生町（現・行方市）生まれ。一〇歳の時に初めて小説を書く。高校卒業後は小説家を目指し日大芸術学部文芸学科へ入学、創作やDTPを学ぶ。卒業後は広告代理店に勤務、制作の仕事をしながら小説の創作を続ける。二〇一五年『ヒトリコ』で第十六回小学館文庫小説賞を受賞。同年『屋上のウインドノーツ』で第二十二回松本清張賞を受賞。（本作・『ウインドノーツ』を改題）で第二十二回松本清張賞を受賞。

『屋上のウインドノーツ』（文藝春秋）



行方市
麻生高等学校
鹿嶋市
清真学園
霞ヶ浦
神栖市文化センター
県民文化センター

友達がひとりもない県立高校へ入学した引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ吹奏楽部に入部する。やがて厳しい練習の日々が始まって、目指すは東日本大会出場音楽と友情の疾風怒涛。第二十二回松本清張賞受賞。

『ヒトリコ』（小学館）



行方市
旧麻生第一中学校
鹿島神宮

クラスで飼っていた金魚殺しの濡れ衣から壮絶ないじめの対象となった日都子（ひとこ）。小五のその日から、彼女は「みんな」には属さない「ヒトリコ」として生きる決心をする。ヒトリコとして生きる彼女の心の支えはピアノとピアノ教師の偏屈なキュー・婆ちゃんだけ。時は経ち、高校に進学した彼女たちのもといじめの原因となった金魚を置いて転校した冬希が戻ってくる。癒えることのない深い心の傷を抱えて…。つらくて、痛くて、理不尽で。でも心がじんわり温まる物語。第十六回小学館文庫小説賞受賞。

『タスキメシ』（小学館）



鹿嶋市
清真学園
霞ヶ浦
水城高等学校
笠間市総合公園

陸上の名門高校で長距離選手として将来を期待されていた真家早馬（まけ ばるま）は、高三は、右膝の骨折という大けがを負いリハビリ中。そんな折、調理実習部の都と出合い料理に没頭する。一学年下で同じ陸上部員の弟春馬、陸上部部長の親友助川、ライバル校の藤宮らは早馬が戻ってくることを切実に待っている。しかし、そんな彼らの気持ちに裏切られて、心に傷を抱えた早馬は競技からの引退を宣言する。それぞれの熱い思いが交錯する駅伝大会がスタートする。そのゴールの先に待っているものは……。

『はなはなクリームソーダ』（文藝春秋）



行方市
白浜少年自然の家
れんこん畑
旧太田小学校
旧大和第三小学校

美大入学を機に上京した寺脇友親。同じアパートに住む才能豊かなイケメン先輩・柚木若菜を知るうちに、自分が抱える息苦しさの正体にも気づいてゆく。松本清張賞作家二十五歳が描くリアルな涙。美大生たちの日々には満ちる輝きと不安が胸に刺さる。傑作青春小説。

『君はレフティ』（小学館）



鹿嶋市
潮来市
鹿島高等学校
鹿島神宮
霞ヶ浦
神宮橋

夏休み中、交通事故に遭い古谷野真樹（まこと）は後遺症ですべての記憶を失った。学校生活に復帰した新学期、文化祭前の高校で謎の落書き事件が勃発。最初は他愛ないいたずらかと思われたが、落書きは段々とエスカレートしていく。そして、その落書きはあたかも真樹に向けられたメッセージのようだった。その謎を追っていくうちに次々と見えてきてしまった親友の秘密。そして…記憶喪失の僕が取り戻した大切な「真実」とは。

額賀さんが書く小説には地元である県東地区を舞台にしたものがあります。私たちにとっては身近な場所が舞台となっているので、情景を思い描きながら読みやすいですよ。

『ヒトリコ』には進学校として神栖高校の名前が出てきます（笑）



最新刊
7/20発売

○新着図書案内○

『騎士団長殺し』
第1部・第2部
村上 春樹

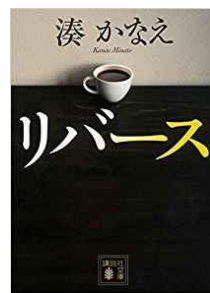
『1084』から七年――、
待ちかねた書き下ろし本
格長編



その年の五月から翌年の初めにかけて、私は狭い谷間の入り口近く、山の奥の方でひっそりなしたに雨が降ったが、谷の外側はだいたひ晴れていた……それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長が頭（あ

『リバーズ』
湊 かなえ

『夜行観覧車』、『Nのために』のスタッフが結集し、『リバーズ』も二〇一七年四月、ドラマ化！



深瀬和久は平凡な絵に描いたようなサラリーマンで、趣味らしいこととていえばコーヒを飲むことだった。その縁で、越智美穂子という彼女もできてようやく自分の人生にも彩りが添えられる。と思つた矢先、謎の告発文が彼女に送りつけられた。そこにはたった一行、『深瀬和久は人殺しだ』と書かれていた。深瀬を問い詰める美穂子。深瀬は懊悩する。ついに『あのことを話す時がきてし

『ハリネズミの願い』
トーン・テレヘン
長山 さき(訳)

ネガティブすぎるハリネズミの姿が共感を呼んで九万五〇〇〇部。本屋大賞受賞の海外小説



親愛なるどうぶつたちへ。きみたちみんなをぼくの家に招待します。……でも、誰も来なくてもだいじょうぶです。ある日、自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思つた。さっそく招待状を書き始めるが、手紙を送る勇気が出ない。もしクマがきたら？ カエルがきたら？ フクロウがきたら？――臆病で気難しいハリネズミに友達たちはできるのか？ オランダで最も敬愛される作家による大人のための物語。

『文房具図鑑』
山本 健太郎

小学六年生の文具愛が爆発！手描き一〇〇ページ、類なき衝撃作。その「濃さ」に大人の文房具マニアも絶賛。



『宇宙はなぜこんなにうまくできているのか』 村山 斉
『流れる星は生きている』 藤原 てい
『劇場』 又吉 直樹
『桜風堂ものがたり』 村山 早紀
『ビブリア古書堂の事件手帖 7』 三上 延
『ちはやふる 32~34』 末次 由紀

進路を考える本

なるには BOOK シリーズ

その職業に就くための方法やどのような仕事内容なのかを解説



新しいシリーズとして大学の学部・学科で「どのような勉強をするのか」「どのような希望がかなうのか」などの疑問を解説する本が出ています。

